

小学生向け ストップ地球温暖化対策授業 ～行動できる人材育成～



福井県坂井市役所
環境推進課 前川 翔太



らしさ、かがやく。
坂井市

福井県？
坂井市？

坂井市の紹介

坂井市は、平成18年3月に4つの町が合併して誕生したことから、都市機能が分散型で形成されています。市街地を取り囲むように広がる田園地帯、市の南部を九頭竜川が、東部の森林地帯を源流とする竹田川が北部を流れ、西部で合流し日本海に注ぎ込んでいます。中部には福井県随一の穀倉地帯である広大な坂井平野が広がり、西部には砂丘地及び丘陵地が広がっています。



観光資源にも恵まれ、青い日本海や越前加賀海岸国定公園に含まれる東尋坊や雄島の美しい海岸風景からなる自然と観光の連携、現存12天守のひとつに数えられる丸岡城の歴史や一筆啓上文化など、広域的観光も魅力となっています。

土地利用を地目別にみると、田畑が34%、森林が30%を占めており、豊かな自然環境に恵まれ、都市機能と自然が調和しています。

道路網は東部に北陸自動車道や国道、鉄道網は市の中央を南北にJR北陸本線、三セクえちぜん鉄道が走っています。

環境教育はむずかしい？

所管課と教育委員会の連携

専門性（教材作成・授業）

行動変容に繋がりにくい

私たちもたくさんの 苦勞があります

環境教育の背景

令和3年度に文科省と環境省の連名で、全国の教育委員会等に対し、「気候変動をはじめとした地球環境問題に関する教育の充実について」が通知され、合わせて、小中高の学習指導要領に「環境保全の視点から、一人ひとりの児童生徒が持続可能な社会の創り手となることが求められる」と明記された。



坂井市でも令和3年度より、小学校6年生を対象に地球環境問題について理解を深め、行動できる人材育成、環境教育を行う坂井市独自の事業として「**ストップ地球温暖化対策授業**」をスタート

坂井市の総合学習

- ・歴史探検学習
- ・食育
- ・市民協働まちづくりスクール
- ・文化・伝統学習 など
- ・環境教育

連携

地元市民団体との連携



教材作成×授業×分析

専門性

三者の連携



「ストップ地球温暖化対策授業」

1. 知識と感情両面からアプローチ
2. SDGs全ての観点から学ぶ
3. システム思考を身に付ける
4. 坂井市の特徴を盛り込む

見えてきた課題

学校・教員

コマ数的な余裕が少ない・環境教育が入り込む余地が少ない
環境教育を理解している教員が少ない

生徒

温暖化について関心を持ち続けることが難しい
生徒によっては温暖化について理解することが難しい

市役所

人員に限られる

➡ **継続のハードルが高い**

教員研修

令和6年度に市内全小学校の教員を対象に環境教育授業の研修を実施。

【研修後の教員アンケートより】

環境学習、探究学習の重要性、シティズンシップ教育への発展など、前向きに捉えている。授業で取り入れていくには、教員自身の理解の深化が必要。



講 師：環境シティズンシップ教育の会 水上 聡子様
参加者：17名

坂井市教育委員会の先生の総括

社会

理科

家庭科

英語 など



結び付けることができる

環境教育

中学生向け気候変動教育授業

2025 坂井市気候変動教育（中学生版） 第1回授業

自分たちの未来を
自分たちの手で創ろう！



坂井市生活環境部環境推進課
環境シティズンシップ教育の会

小学生向けのストップ地球温暖化対策授業をより発展させた内容。
坂井市内の全中学校を対象に実施予定。

ふるさと納税を活用！



らしさ、かがやく。
坂井市

私たちの活動がこどもたちの行動
変容に繋がることを祈っています